

7月

夏山遭難防止



いよいよ夏山シーズンとなりました。
広大なアルプス等の景観を求め、1年で最も登山が活発になるシーズンですが、山岳遭難が多発するシーズンでもあります。

昨年7月、8月の夏山期間中の山岳遭難は、発生件数は**143**件で、遭難者数は、死者**6**人、負傷者**75**人、無事救出者**73**人の合計**154**人を記録しました。

特に、北アルプスでの発生が**102**件と県下全体の山岳遭難の約**7**割を占めました。

遭難の態様としては、転倒や転落・滑落が最も多く、下山中の遭難が目立ちました。また、疲労や道迷いによる行動不能遭難も多発しています。

年齢別では、40歳～50歳代が約**4**割、60歳以上が約**5**割で、40歳以上の中高齢層の遭難者が全体の約**9**割を占めています。

登山者の皆さんは、登山は観光ではなく、危険を伴うスポーツであることを理解し、自分の体力・技術・経験に合った山を選び、安全で楽しい登山を心掛けてください。



少年の犯罪被害・非行防止と有害環境浄化



～『非行』は 子供からの『SOS』～

【注意点】子供が発するサイン(SOS)

- ① 帰宅時間が遅くなったり、無断外泊をする。
- ② 友達の名前や外出先を言いたがらない。
- ③ 服装(見た目)が派手になった。等

前記のサイン(SOS)があれば、親子でしっかりと話し合しましょう。



ダメ。ゼッタイ。



7月は『**青少年の被害・非行防止全国強調月間**』です。

非行は子供からの『**SOS(サイン)**』です。

少年の被害・非行防止のため、家庭・地域など社会全体が一体となって、

『**非行少年を生まない社会づくり**』を推進し、青少年の健やかな成長を見守りましょう。

少年に関する相談は、24時間対応のヤングテレホンへ
026-232-4970 (長野県警察本部生活安全企画課)



しあわせを つなぐ信濃路 ゆずり合い